

慶応二年四月廿八日より慶応二年五月二日まで

P8310588_right

昨日英パークス引合趣泉防兩州より御談話有之、薄晩過帰宅、長蔵刀鞘ぬり本持来りし旨、藤山稽古に来りし旨、山本(長)来る、一杯蕎麦を勧む、

廿八日 巳 晴夕前陰雷気

長□来る、招差鏝縁頭三品の代を渡し、且□差□注文托し遣す、第七時より出宅、第八時半過也泉岳寺英飯館へ至り、此の命の儀を談す、以降の儀願立る、第十二時前 出殿引合の縷々建白薄晩前帰宅、金港町田より次男友野力龍決手見せを差越す、柳亭稽古に来る

廿九日 午 晴

菊池より願致し酒一樽為持越す、出 殿 佐久間(□)へ刀剣代十二円を渡し払方を頼む、英パークス御逢有之

(防州□泉州延岡殿共列席) 第三時罷出右以前相越、薄晩過帰宅、番町へ女使

P8310588_left

有之旨、須崎(常)来り正覚の儀に付、□る。申聞し趣有之旨、抱屋敷讓受願振下案西尾用役方へ周助遣し為受取敷(か)、明後二日に差し出す積り

五月

朔日 未 濃陰漸に薄晴

松盛亭稽古に来る束脩(※)例の通り遣わす、出 殿、正覚稽古に来りし旨、須崎伯母義孫女よし庄内より

帰着後初めて来り土産小品数種、(周久七婢へも一小品づつ) 持参一泊酒肴を設く着賀として紺かすり帷子(かたびら、一重物) 地を遣す

二日 申 雨

*「束脩(そくしゅう) 入門料」月謝

()内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。